

## 健やかでやさしい松前町をつくる

### 高齢者支援の充実

介護施設などの緊急整備と公的介護施設などの運営主体に補助を行い、安定した質の高い介護サービスを提供します。

### 子育て支援の充実

幼保一元化を踏まえた幼保連携型保育園の施設整備に対して補助を行い、子育て支援の更なる充実を図ります。

### こんには赤ちゃん事業

生後4カ月までの赤ちゃんのいる全ての家庭を保健師と保育士が訪問し、適切な助言や情報提供を行うことで、安心して子育てができる環境を育みます。

### 小学生の入院費の無料化

小学校就学前までの乳幼児については医療費を無料とされていますが、本年4月からは、小学生についても入院費を無料にします。



○介護基盤緊急整備等事業・介護基盤施設開設準備等事業	1億9,039万円
○心身障害者福祉事業	3億4,721万円
●保育所施設建設等補助金	2億9,299万円
●こんには赤ちゃん事業	546万円
○予防接種事業	1億1,444万円

## 人と文化が輝く松前町をつくる

### 学校教育の充実

小中学校の校舎などの耐震対策を計画的に行います。国の「安心子育てコミュニティ広場推進事業」として、松前・古城両幼稚園の園庭の芝生化を行い、園児や地域の親子が安心してのびのびと遊べる園庭を整備します。

### 生涯学習の推進

住民が生涯を通じて自己啓発を目指して学習活動が続けられるよう、学習機会の拡充に努めます。

### スポーツの振興

平成29年開催の愛媛国体に向けて、開催地として内定のあったホッケー、ボクシング、射撃競技の教室を引き続き実施し、各競技団体との協力体制を構築し、住民への周知と意識の高揚を図ります。



○学校耐震化事業	4億2,631万円
●安心子育てコミュニティ広場推進事業	161万円
○給食センター設備整備事業	546万円
○中央公民館運営事業	1,085万円
○国体開催市町スポーツ振興事業	57万円

3月2日(水)に開会した松前町議会第1回定例会の冒頭、白石勝也町長は、平成23年度の町政方針を述べました。

町政方針は、この1年間にどのような施策を行うのか、町の進むべき指針を示すものです。

平成23年度の町政方針と予算を、第4次松前町総合計画の6つの柱に沿って紹介します。

## 平成23年度

# 町政方針

## 誰もが「住んでよかった」「住みたい」と思える魅力あるライフタウンを目指して

## 安全・安心・快適な松前町をつくる

### 消防・防災の充実

北黒田海岸の堤防などを計画的に整備し、海岸の保全と保安機能の確保を図ります。老朽化が進む南黒田・北黒田の消防詰所を集約するため、第1分団消防詰所の整備を促進し、地域防災力を向上させます。

### 環境・景観の保全と創造

まさきちょう環境家計簿を中学生などへ配布し、家庭の二酸化炭素排出量を把握してもらうことで環境意識の高揚を図ります。

### 廃棄物処理の充実

ごみの分別を一層徹底することで、埋立てごみ・焼却ごみの減量化とリサイクルの促進を図り、資源の再利用・ごみの減量化を図ります。



○北黒田海岸整備事業	1億4,000万円
○第1分団消防施設整備事業	2,023万円
●交通茶屋事業	69万円
●まさきちょう環境家計簿作製事業	116万円
○廃棄物・資源物収集運搬処理事業	1億6,990万円

●は新規事業

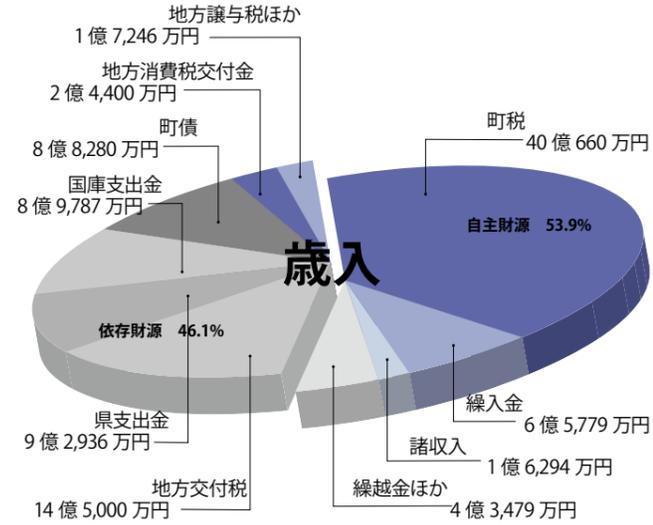
以上のような内容で編成した平成 23 年度一般会計当初予算は

# 97 億 8,385 万円 (前年比 11.3%増)

予算とは、1年間に見込める収入(歳入)と、何にいくら使うのか(歳出)をあらかじめ計画したものです。町には全部で3つのお財布があります(一般会計、特別会計、企業会計)。その中で基本的な会計である「一般会計」について説明します。

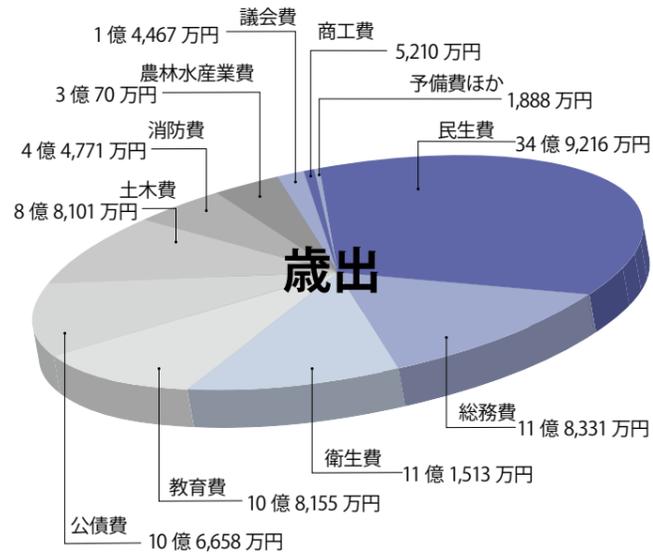
## 入るお金(歳入)

歳入は、「自主財源」と「依存財源」の2つに分けられます。自主財源は町が自らの意思に基づき収入するもので、依存財源は国や県の意思決定により収入するものです。自主財源が多いほど安定し、独自性が保たれます。前年度当初予算と比較すると、本年度は町税が減っています。固定資産税の一般家屋の建築に伴う家屋分や町民税のうち法人税割の増収が見込まれているものの、町民税の個人分は景気低迷の影響から減収となる見込みだからです。繰入金は財源不足に対応するため大きく増えています。また、社会保障関係費の増に伴い、国庫支出金・県支出金も増えています。



## 使うお金(歳出)

歳出に占める割合は、民生費が 34 億 9,216 万円以最も高く、次に総務費、衛生費、教育費の順になっています。前年度に比べ、民生費は介護施設等の緊急整備や幼保連携型保育園の施設整備に対して補助を行うことなどで 6 億 6,140 万円の増、教育費は学校耐震化事業などで 3 億 8,665 万円の増、衛生費は予防接種事業の拡充で 5,542 万円の増となりました。一方、土木費は町道筒井徳丸線の事業完了に伴い 2 億 4,390 万円の減となっています。



※1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

	23年度	22年度	増減率
一般会計	9,783,853	8,789,196	11.3
国民健康保険特別会計	3,278,450	3,206,508	2.2
老人保健特別会計	0	800	△100.0
後期高齢者医療特別会計	334,108	341,093	△ 2.0
介護保険特別会計	2,395,183	2,246,918	6.6
公共下水道事業特別会計	740,266	682,329	8.5
特別会計 合計	6,748,007	6,477,648	4.2
水道事業会計(企業会計)	923,947	1,052,946	△ 12.3
総 額	17,455,807	16,319,790	7.0

**用語解説**  
 一般会計：町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計  
 特別会計：一般会計と区別して経理する必要がある会計  
 企業会計：民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計  
 町税：皆さんが納める税金や会社の法人税など  
 繰入金：貯金である基金などから一般会計へ繰り入れるお金  
 諸収入：預金利息や町が融資した貸付金の返済金など  
 国庫支出金：事業を行うための国からの負担金・補助金など  
 県支出金：事業を行うための県からの負担金・補助金など  
 町債：事業を行うために借入れるお金  
 民生費：児童・老人福祉や障がい者福祉に使われる経費  
 総務費：行政全般の事務などに使われる経費  
 土木費：道路、公園整備などに使われる経費  
 公債費：町の借金の元利金の返済に係る経費  
 衛生費：健康診断などの保健関係、ごみ収集などの環境保全のための経費  
 教育費：学校教育や生涯学習文化振興などに使われる経費  
 消防費：伊予消防等事務組合への負担金や災害対策に使われる経費  
 農林水産業費：農水産業の振興、土地改良事業などに使われる経費  
 議会費：議会運営の経費  
 商工費：商工業の振興などに使われる経費

## 豊かでのぎわいのある松前町をつくる

### 農水産業の振興

学校給食における地元産米の使用を促進し、食の安全と信頼の確保に努めるとともに、米の生産調整と戸別所得補償制度の円滑な実施を図ります。農業従事者の労力の軽減や経費の削減を図るため、各種土地改良事業を実施し、農業経営の安定に向けた取り組みを支援します。また、漁業従事者の連帯感や協同意識の醸成のための事業と、漁業者の省力化・利便性の向上を図る事業に補助を行い、水産業の振興を図ります。

### 商工業の振興

企業の指導育成と商工業の振興を支援し、産業の活性化を図ります。



- 地産地消促進事業補助金 88 万円
- 愛媛水田農業経営確立対策事業 323 万円
- 土地改良事業 1 億 786 万円
- 漁業振興育成対策事業 223 万円
- 商工振興育成対策事業 683 万円

## 飛躍を支える松前町をつくる

### 市街地の整備

指定する区域内にある老朽建物を取り壊し、その土地の寄付を受けることで、当該地区の住環境の改善や地区住民の不安の解消を図ります。

### 住宅施策の推進

耐震診断を行い、既存の木造住宅の耐震化を促進します。

### 道路・交通網の充実

老朽化が著しい町道の補修と地域要望に係る道路整備を計画的に実施し、道路環境の改善と交通の安全を確保します。

伊予鉄道古泉駅に屋根付き駐輪場を整備し、住民の利便性の向上を図ります。



- 松前町老朽建物除却事業 199 万円
- 松前町木造住宅耐震事業 66 万円
- 伊予鉄道古泉駅駐輪場整備事業 518 万円
- 町道等維持事業 9,597 万円
- 情報管理事業 1 億 2,636 万円

## みんなで力を出し合う松前町をつくる

### 男女共同参画社会の実現

男女共同参画ふれあいフォーラムを開催し、男女平等・共同参画への関心を高めるとともに、男女共同参画社会づくりの重要性を啓発し、意識の高揚を図ります。

### 人権の尊重

配偶者からの暴力等、いわゆるDV被害から被害者を保護することを目的に、福祉センター1階に電話相談室を開設し、適切な処置を速やかに取れる体制を整備します。



- 男女共同参画ふれあいフォーラム開催事業 67 万円
- DV防止対策事業 10 万円